

ColorServer 成功事例

January, 2020

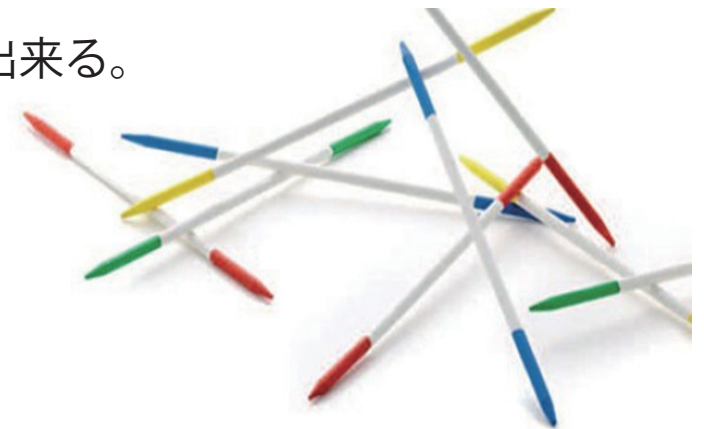
GMG Japan



ColorServer 代表的な機能



- ▶ ヘッドやドラム交換でプリンタの条件が変わっても、目標の色を正確に再現出来る。
- ▶ プリンタの方式 / 機種 / メディアが違ってても、適正な色調を正しく表現出来る。
- ▶ Adobe PDF Library を搭載。透明効果オーバプリントを適正に処理出来る。
- ▶ 専門知識が無くても、簡単にプロファイルが作成出来る。(SmartProfiler)
- ▶ 詳細な濃度調整、色調整、特定色の部分補正が出来る。(ProfileEditor)
- ▶ 特色を適切に CMYK に分解し正確に再現出来る。(SpotColorEditor)
- ▶ 海外規格のデータ (Forga、GRACol、SWOP 等) を、JapanColor に変換出来る。
- ▶ 仕上り品質を維持しながら、総インク量を大幅に削減出来る。



ColorServer の導入効果

出力の色合わせが、正確に、スピーディーに、なります。

- ▶ 色合わせの、作業時間を短縮できます。
- ▶ 色の専門知識が無くても、色合わせ作業が出来ます。
- ▶ 色合わせの為の、出力機の占有時間が短くなります。
- ▶ 色合わせ為の、メディアやインクの無駄が大幅に減ります。
- ▶ ジョブを異なる出力機で共有できます。
- ▶ 特色を適切に CMYK で出力できます。
- ▶ 総インク量を大幅に削減出来ます。



ColorServer 4つの成功事例



1. 多種の POD でジョブを共有

お客様の状況：複数メーカーの多機種の POD で、名刺主体に印刷するお客様。

ColorServer 導入で、機種間の色調の差異を克服。ジョブを多種 POD で共有。

機械の空き待ち削減等で大幅効率アップした成功事例。 (👉 P5)

2. 多種の LFP でも立会校正が効率化

お客様の状況：メーカー、印刷方式、幅が違う LFP を保有するお客様。

ColorServer 導入で、色見本と LFP の色調のマッチング達成。

クライアントの立会校正を大幅短縮した成功事例。 (👉 P6)

3. オフセット、POD、LFP の色合わせ

お客様の状況：オフセット印刷機、校正用 POD、UV 大判 LFP 保有のお客様。

ColorServer 導入で、夫々の色調をマッチング。

大判ポスターの内製化と営業工数を削減した成功事例。 (👉 P7)

4. グループ会社との連携出力

お客様の状況：本社とグループ会社双方に多種多数の POD、LFP 保有のお客様。

ColorServer 導入で、両社間で出力物の正確な色再現を達成。

生産の瞬発力が飛躍的に向上し、製造原価低減を達成した成功事例。 (👉 P8)

1. 多種PODでジョブ共有



お客様の設備状況：

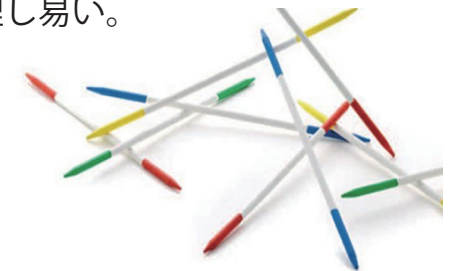
POD 保有数：計 5 台、メーカー数：4 社、モデル数：4 機種。

ColorServer導入前：

1. 各PODの発色が別々で、ジョブを他の機械へ振ることが出来ず、以下の問題があった。
 - ・ 順番待ちの機械がある一方で、空いている機械があった。
 - ・ 故障機が出ると、メンテ完了まで処理できないジョブが生じて、極端な残業となった。
 - ・ リピートオーダーは、元のPOD機で出力するのが当然と思っていた。
 - ・ 各メーカーが準備した汎用プロファイルでは、同モデル機でもの個体差解消が出来なかった。
2. 複数のPODメーカー各社のカラマネソフトは、自社職員では使いこなせなかった。
3. ロゴ等の特色やカラーを含むものは色が合わないのに、自社が満杯でも外注出来なかった。

ColorServer導入後：

1. 上記1.の問題が全て解決した。POD間での色差が解消。ジョブを他のPODで処理し易い。
2. 自社職員がプロファイル作成し、色合わせの時間が大幅に短縮。ヤレ率が低下。
3. 同じColorServerを導入した提携会社と、円滑に高品質なジョブ連携が出来る。
4. 定期的にキャリブレーションをとることで各PODの色再現が安定。ヤレ率が低下。



2. 多種LFP/立会校正を効率化

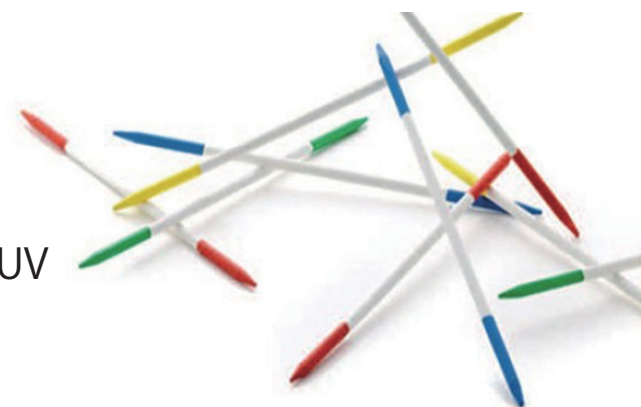


お客様の設備状況：

LFP 保有台数：16 台、メーカー数：4 社、

LFP の幅：1300mm ～ 5000 mm、

モデル数：6 機種、 出力方式：水性、溶剤、昇華転写、UV



ColorServer導入前：

1. 著名な世界的ブランド向けジョブの色見本と、サイズや種類が異なるLFP出力の色合わせには、非常に手間が掛るのが当たり前だと、関係者全員が考えていた。
2. 色合わせは、Illustrator、Photoshopを操作しデータの変更で対応。正に属人的な作業だった。
3. クライアントの立会校正には長時間を要して、徹夜対応となることが稀では無かった。

ColorServer導入後：

1. 最も色に厳しいクライアントの場合も、立会校正が数時間で終了するのが普通になった。
2. 社内校正後の色味修正作業の頻度が大幅に減少し、色合わせ作業のオペレータの負担、機器の長時間占有、メディアやインクのロスが著しく減少した。
3. UV、溶剤、水性のLFP間でも、同じデータからの出力色調のマッチングが容易になった。
4. 定期的にキャリブレーションをとることで各LFP機の色再現が安定しヤレ率が低下した。
5. 極端な残業が無くなった。

3. オフ/POD/LFPの色合わせ



お客様の設備状況：

オフセット印刷機：4台、POD（4色）：2台、
LFP（水性、UV、溶剤）：計6台、6機種



ColorServer導入前：

1. オフセット印刷の電車中吊り広告と、大判LFPの出力の色調が合せられず、スキルの高い外注先にLFP出力を発注していた。
2. メーカーに依頼してオフセット印刷をターゲットとしてPOD出力の色調の調整を頼んでいたが、社内でも色味に不満が出る状態だった。

ColorServer導入後：

1. 自社のオフセット印刷機をターゲットとして、PODと大判LFPの色調をマッチングさせ以下達成。
 - ・外注していた大判LFP出力の内製化を実現。
 - ・色合わせ作業のオペレータの負担、機器の長時間占有、メディアやインクのロスが減少。
 - ・POD出力の色再現の精度が向上し、クライアントとの折衝にも校正として有効に利用できるようになり、営業が円滑になった。
 - ・色調のマッチングの達成を切り所として、デジタル印刷機の導入の検討を開始した。

4. グループ会社と連携出力



お客様の設備状況：

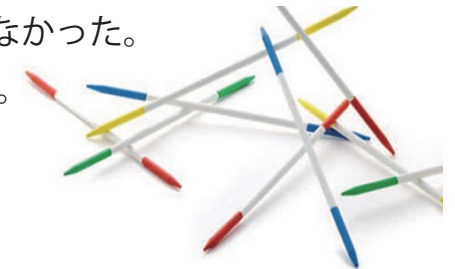
本社：LFP（水性：10台、溶剤：10台、UV：2台、ラテックス：1台、昇華：3台）

LFPモデル数：7機種、POD：2台（指示書出力用）

グループ会社：LFP（昇華：27台、UV：2台）モデル数：6機種、POD：5台（指示書出力用）

ColorServer導入前：

1. 本社で入稿しグループ会社で出力する構想を描いたが、双方の色が簡単には合わなかった。
2. グループ会社での色合わせの為に、材料、機械占有、労力などロスが大きかった。
3. 両拠点に同じ機種の出力機を保有していても、色味、色調が異なっていた。



ColorServer導入後：

1. 設定した共通のターゲットに両拠点が出力の色を合わせることが容易になり、次の効果が生まれた。
 - ・本社で校正した後に、生産コストの安いグループ会社での円滑な生産が実現できた。
 - ・グループ会社での、色合わせ作業、機器の長時間占有、メディアやインクのロスが減少した。
2. 本社とグループ会社双方に設置してある同じ機械間では、プロファイルを共有した定期的なキャリブレーション実施で、色の再現精度が飛躍的に高くなった。

最後に

本プレゼンテーションでは、ColorServerの多数のHappyユーザ様の中から、代表的な4つの成功事例を選んでご紹介致しました。記載事項は、お客様から弊社が実際にお聞きした内容であり、想定やフィクションではありません。同じ状況が整えば、他のお客様においても必ずや同じような成功をご実現頂けるものと、弊社では認識しております。

